

施術をお受けいただく前に

神戸東洋医療学院 附属治療院
院長 石橋 尚久

当院では、解剖学・生理学・衛生学・東洋医学理論を基に施術（治療）を行なっています。

来院される方々が訴えられる症状や病気は、腰痛や関節痛等の整形外科系、風邪やぜんそく等の呼吸器系、不眠やだるさ等の自律神経系、膨満感や過敏性腸症候群等の消化器系、月経痛や子宮筋腫等の婦人科系、免疫疾患等等、年齢層も幼児から高齢の方々までと様々です。その方の体質、体力、症状に応じて施術方法や刺激量を調整しています。そうした施術が症状の改善や安定をもたらす一方、人によっては時にその方の体調等とも関係し、治療効果以外に現れる生体反応があります。以下にそれについてご説明します。

1. 鍼施術による反応として

a. 出血・内出血

当院では、出血・内出血が起こりにくいように、私達の髪の毛1～3本程度の細かい鍼を使用しています。ただし、毛細血管の多い箇所（顔や頭部など）、凝りが強く循環の悪い箇所、むくみを起こしている箇所、また内出血を起こしやすい体質の方（抗血栓薬を服用している方も同様です）は、出血や内出血が起こることがあります。その際の出血量はごく僅かで、内出血は1～2週間ほどで治ります。

b. 鍼痕（鍼の痕の膨らみ）

鍼を行なうと全身、並びに局所の血行がよくなり、人によっては鍼を行なった箇所的一部分が、ポツンと数分から数時間膨らむことがあります。鍼痕は違和感を伴うこともありますが、ほとんどの場合無感覚で元に戻ります。

c. 鍼感（刺激感の持続）

施術方法や施術の刺激量は、施術を受けられる方の年齢や体調、病状、施術後の病状経過、今までの施術を受けた経験等を考慮し、選択していきます。その施術方法の中にはあえて鍼独特の刺激感を与え、治療効果を高めるものも含まれます。この鍼独特の刺激感というのは、注射針や縫い針を刺した時のような鋭い痛みとは異なり、凝りの部分を押さえられた時のようなジワー・ツーン・ズーン等と表現される感覚で、人によってはこの感覚が数分から翌日まで持続することがあります。この刺激感が消えた後は、施術前より症状の軽減や爽快感を得られる方もいらっしゃいます。

2. 灸施術による反応

a. 火傷・火傷後の化膿

灸の効果は灸成分によるものと温熱刺激によるものです。温熱刺激を与え、あえて灸の痕を残す灸法もありますが、当院では痕が残りにくい方法を行っています。しかし脳梗塞や脳内出血による後遺症の箇所や、糖尿病などで低温火傷を起こしやすい方の中には、火傷（赤みや水ぶくれ）を起こすことがあります。水ぶくれの箇所をその後傷つけてしまうと、化膿する場合がありますので注意が必要となります。低温火傷をしやすい、ケロイドが残りやすいなどの体質の方は事前にお申し出ください。

3. 鍼・灸施術による反応

a. 湿疹

施術箇所の一部分が蚊に刺された痕のように赤く腫れる場合があります。これは免疫機能のバランスが崩れている方の中に起きることがあります。湿疹はかゆみを伴うこともありますが、大抵は無感覚で、数分から2～3日中には消えます。これは施術回数を重ね、体調の改善が見られることで現れなくなります。

※金属アレルギーの方が施術を受けることは可能かという質問をよく受けます。

実際の施術では鍼との接触時間が短いため、強い反応が現れることはなく、上記と同様な反応と経過が現れる場合がある程度です。

4. 鍼・灸・手技（マッサージ）施術による反応

a. だるさ・めまい・吐き気・発熱

体に刺激を与えるため、激しい運動後や入浴による湯あたりのような反応が現れることがあります。このような反応も施術回数を重ねることにより解消されます。

b. 眩暈反応

施術後、病状や症状が改善する前に、一時的に反って症状が強くなったように感じることがあります。この反応は体が回復していく過程の一つと捉えられています。

5. アルコール・消毒による反応

アルコール・消毒後に皮膚にかゆみ・火照り・かぶれが現れる方がいらっしゃいます。このような経験をお持ちの方はお申し出ください。

上記の内容は初めて施術を受けられる方に対して、特に鍼・灸についてと、鍼・灸施術により起きる可能性のある身体の反応についてご説明をいたしました。もしこのような反応が現れたとしても、施術方法の変更や刺激量の調整等により、その後も継続した施術を安心してお受けいただけます。

また、上記の説明で分かりにくい点がございましたらお尋ねください。ご理解いただけた方は、承諾書にご署名くださいますようお願いいたします。

この説明と承諾は、医療におけるインフォームド・コンセント（十分な説明と同意）に基づき行っています。

※皆様の個人情報、施術と施術に関するご案内のためにのみ使用いたします。プライバシーは厳重に保護されますので、ご安心ください。

※当院ではディスポーザブル鍼（使い捨て）を使用し、消毒について、細心の注意をはらっております。

※院内での喫煙、および携帯電話の使用はご遠慮ください。